

令和4年度 狭山市立入間野小学校学校関係者評価表

※【評価の目安】 A：よくできている(90%) B：概ねできている(75%) C：あまりできていない(60%) D：できていない(60%未満)

領域	NO	項目	教員	児童	保護者	改善策等 (教職員自己評価より)	学校関係者評価 (学校運営協議会委員) から 【 評 価 】
学校教育目標	1	児童は、自分から目を見て挨拶している。	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に入り、地域の方、あまり関わりのない方にもあいさつができるようになってきた。道徳教育、定期的なあいさつ指導、学年朝会で意味を伝えていく。 ・正しい持ち方、手の腹のすべらせ方などを継続的に指導し、書く力をあげていく。 ・避難訓練を柱として、日常的にも「この場合どうする。」と意識を高める。 ・テストで途中であきらめてしまう児童も多いので最後まで考えるように促す。 	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の[6:C]を見ると家庭内でゲームを中心にスマホの時間が多くなっているのでは？先日のSNSの授業で、家でのゲーム時間が2時間以上が多く、中には5～6時間の児童もいた様子であった。 ・あいさつ活動を今後も続けていくことで大切さが伝わり身についていくと感じる。 ・避難訓練前後に家庭でも確認や見直しをすることでより意識も高まることにつながる。 ・児童のあいさつはよくできているが、職員の方で一部、来校者へのあいさつがない方がいる。 ・登校時に地域・保護者にあいさつをする児童をよく見る。自分からあいさつができる児童が植えると学校の雰囲気は更によくなると思う。 ・教員[4:C]に対する理由と改善策が気になる。
	2	児童は、丁寧な言葉づかいをしている。	B	B	B		
	3	児童は、集団のために活動している。	B	B	B		
	4	児童は、分からないことは質問しながら聞いている。	C	B	B		
	5	児童は、文字を丁寧に書いている。	B	B	C		
	6	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B	B	C		
	7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B	B	B		
	8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B	B	B		
	9	児童は、学校生活を楽しんでいる。	B	B	A		
	10	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	B	B	B		
学校運営	11	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B			<ul style="list-style-type: none"> ・勉強になる研修であった。部会での話し合いが充実していた。横のつながり、組織での共有について積極的にかかわる必要があった。 ・学校・学年方針の共有、実践、ふり返りまでを通して行えるようにしていく。 	<p>【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この項目に関してはAを要望する。 ・積極的に活動していた。 ・同じ目標に向かって進めている。体育の発表に向けて学校全体で頑張っていた。
	12	職員は、学校課題研究「体育」の校内研修に主体的に取り組むことができた。	B				
	13	職員は、報告・連絡・相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	B				
学力	14	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身に付けさせている。	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・少し頑張れば達成できる課題を一人一人の学力に応じて示すことで、意欲の継続に繋げる。 	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が[14:A]をつけて裏付けを確認してほしい。 ・自信につながり少しずつ意欲が高まるように思う。 ・学習の基礎企運も大切だがなぜ学ぶのか、なぜ学校に通うのか、そのようなことも考えられ、意欲的に学習に向き合って欲しい。
	15	学校は、自ら考える力を付けさせている。	B	B	B		
規律	16	学校は、心の教育に努めいじめ防止の取組をしている。	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会を柱に学年での共通理解、児童理解を勧めた。適切な 	<p>【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員、児童の評価と保護者の評価が違うのは

心	17	学校は、規律ある態度を身に付けさせている。	B	B	A	対応ができるよう、学年での議論を継続していくとともに、組織的に取り組めるよう教育相談、生徒指導、管理職への報告等確実にを行うようにする。また、来年度への引継ぎを確実にしスムーズな進級につなげる。	なぜか。 ・ダメなことはだめだときちんと児童に指導できていると思う。 ・些細なことでもそれぞれ受け止め方が違うので、教員の中で議論や報告を密に行うことはとても大切だと感じる。
	18	先生は、困ったときに相談に乗ってくれている。	B	B	A		
体力	19	学校は、体力向上に取り組んでいる。	B	A	A	・子供たちが「もっとやってみよう」と思うような場を工夫し、設定する	【A】 ・たいへんよくできている。 ・体育朝会のような場を増やせないか。 ・毎日の宿題にストレッチがあり継続しやすいと思うが、毎日同じ内容なので、プラスαの子供の好奇心をくすぐるものがあると意欲的に取り組めると思う。
環境	20	学校は、美しい環境を保持している。	B	B	A	・安全点検を中心として各自が責任をもって環境を整備する。 ・美しい言語環境についてはより人権感覚を高めて確実にしていく。	【B】 ・保護者の評価は正しいと思う。 ・常に整備されている。 ・雨上がり後の遊具が滑るので、その対策や害虫対策を十分にしたい。
連携・参画	21	学校は、保護者や地域との連携を推進している。	B		A	・コロナ禍ではあるが、少しずつ体験活動を充実させることができるようになってきたため、地域の方の力をさらにお借りして児童の成長の充実に図る。	【A】 ・地域行事との校庭借用などにご理解いただいている。 ・常に地域と連携を意識されていると感じる。 ・来年度は今までよりも活動できるように思う。 ・全体的に内にこもる傾向を感じる。 ・次年度は更に地域と連携して児童の成長に生かせるとよい。 ・地域との連携については課題がある。
	22	学校は、保護者や地域に対して学校運営への参画意識が高まるよう努めている。(各種お便り・メール・ホームページ等による情報発信、学校公開等)	B		A	・お便り、メールを活用し学校情報や県教委・市教委からの案内等を発信してきた。 ・発信する情報をより多くの方々に目にするができる工夫をする。	【A】 ・常に地域と連携を意識されていると感じる。 ・必要な案内はメールで発信されよい。 ・スクリーンを活用できるとよい。 ・学校公開を増やし保護者をもっと学校に來校できるとよい。
	23	保護者や地域は、学校の教育活動に積極的に参加していることが感じられる。(学校公開・懇談会、行事等への参加、各学年の学習活動、学校評価や各種アンケートへの回答等)	B		A	・校外活動の時には、学校応援団の方に声をかけて見守っていただいた。 ・地域の教育機関や公共機関との関わりがあまりなかったため、今後増やしていく。	【A】 ・常に地域と連携を意識されていると感じる。 ・コロナ禍で難しいこともあるかと思うが、関わりが植えていくとよい。 ・地域と保護者が参加しやすい環境づくりも必要である。
会計	24	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切になされている。	B		A	・複数の目で確認する。 ・集金日の未回収率が高くなったので、事前周知の方法を工夫(例えばメールによ	【A】 ・集金が引き落としになり、お金を子供に持たせる不安がなくなった。

						る周知) する必要がある。 ある。	・ お金について子供が意識できるよう連絡帳に書かせることも必要と考える。また、子供が親に集金のことを伝えることも教育上必要と考える。
--	--	--	--	--	--	----------------------	--